

広告サイズ と 入稿スケジュール

■一般(段)広告サイズ

タテ	サイズ	ヨコ	サイズ
1 段	32 mm	全幅	245 mm
2 段	66 mm	1/2	121 mm
3 段	101 mm	1/4	56 mm
4 段	135 mm	3/4	181 mm
5 段	170 mm	完全見開き	515 mm
6 段	204 mm	全面広告 タテ ヨコ 377 mm × 245 mm	
7 段	239 mm		
8 段	273 mm		
9 段	308 mm		
10 段	342 mm	完全見開広告 タテ ヨコ 377 mm × 515 mm	
11 段	377 mm		

※広告企画によっては上記サイズに当てはまらない場合もございます。

※クーポン広告「クーポン倶楽部」については、切り取り線の付いたフォーマットデータ (AIファイル) をご用意しております。

詳しくは、営業担当者までお問い合わせください。

■雑報広告

種 別	サイズ (タテ×ヨコ)
題字横	32 mm × 70 mm
ミニスポットI	10 mm × 56 mm
ミニスポットII	20 mm × 56 mm
スポットI	32 mm × 56 mm
スポットII	66 mm × 56 mm
スポットIII	101 mm × 56 mm

■求人広告「WORK」

[1色付加]

種 別	サイズ (タテ×ヨコ)
中枠	32 mm × 59 mm
大枠	66.6 mm × 59 mm
特中枠	101.2 mm × 59 mm
特大枠	66.6 mm × 121 mm

■クーポン広告「クーポン倶楽部」

[1色付加]

種 別	サイズ (タテ×ヨコ)
固定枠	66 mm × 56 mm

完全データ入稿締め切り

[フルカラー広告] **発行日の11日前** (月曜日)

[1色付加広告 (WORK・クーポン倶楽部)] **発行日の8日前** (木曜日)

※年末年始や盆休み、その他祝日などの関係で入稿日が変更になる場合があります。詳しくは営業担当者にお問い合わせください。

N-PDF

広告データ作成アプリケーションおよびバージョン

○Adobe Illustrator CS2 (ver.12.0.1) 以降

○Adobe InDesign CS4 以降

システムのMac、Windowsは問いません。使用するアプリケーションのバージョンに合わせた推奨OSを使用してください。

※Adobe社よりパッチ (バージョンアップ) が配布されているものは必ずアップデートしてください。

※当マニュアルは、Illustratorの操作を基準に作成してあります。InDesignの操作・設定に関しましては、(一社)日本広告業協会発行の「[新聞広告デジタル制作ガイド N-PDF ver.1.2](#)」をご参照ください。

N-PDF

完全データ入稿形式

■入稿に必要なもの

○プリフライト (事前チェック) を済ませたN-PDFデータ

入稿いただいたデータは、[愛媛新聞社プリフライトプロファイル] で解析し、エラーが認められた場合には、データの修正を求めることがあります。

※N-PDFは入稿前のセルフチェック (プリフライト) が可能です。プリフライトの詳細・手順につきましては、[当マニュアル \(P.6\)](#) を参照ください。

■送稿方法

○メール

○記録メディア (CD-R、USBメモリ)

※入稿メールの送付先につきましては、営業担当者にお問い合わせください。

■入稿データのファイル名

n (N-PDFの略) + 掲載号 (月日を4桁数字表記) + 広告主名 (広告内容) + サイズ

例) 4月16日号掲載の「リック不動産」、3段1/2 (半3段) サイズの場合

n0416リック不動産3d2.pdf

※「_」(アンダーバー)と拡張子直前の「.」(ピリオド)を除き、記号や環境依存文字を使用しないでください。文字化けの原因となります。



n0416リック不動産
3d2.pdf

レイアウトデータの作成

Adobe Illustrator

■制作を始める前に

新規ドキュメント作成時、もしくは[ドキュメント設定]から以下の項目を設定してください。

○[アートボード] サイズを原稿サイズに設定

※クーポン広告「クーポン倶楽部」については、切り取り線の付いたフォーマットデータ (AIファイル) をご用意しております。

○[裁ち落とし] 天地左右 0mm (CS4以降)

※N-PDFでは、アートボードからはみ出た部分はデータとして認識されず印刷されません。

○[ラスタライズ効果] 高解像度 (300ppi)

※[ラスタライズ効果]は、[効果/ドキュメントのラスタライズ効果設定]からも設定できます。

■カラーモードとインキ総量

○カラーモード：CMYK (プロセスカラー) もしくは グレースケール

○インキ総量：CMYK 使用率の合計値が240%以下となるよう調整

※RGBおよび特色 (カスタムカラー) の使用はできません。

■線オブジェクト

線幅0.15ポイント (0.05mm) 以上の線属性で作成

■広告範囲

すべての広告は罫線で囲むか、色を敷くなどしてその範囲を明確に区別する必要があります。

広告罫で囲む場合、罫線幅の外側が広告サイズに収まるよう作成してください。

※広告データにトリムマーク (トンボ) や塗り足しは不要です。入稿の際は削除してください。

■配置 (リンク) 画像

○CMYK およびグレースケール画像：実質解像度250~350ppi程度のPSD形式ファイル推奨

○モノクロ2値 (モノクロ2階調)：1200ppi程度のTIFF形式ファイル

使用する画像データは、Illustratorに実際にレイアウトする大きさに合わせて解像度を設定してください。

※二次元コードはIllustratorのベクターデータ、もしくはモノクロ2値のTIFF (無圧縮) データを推奨。

■N-PDF 書き出し前の注意事項

○フォントはすべてアウトライン化

空のテキストポイントやテキストパスは削除してください。

また、パターンやブラシにもフォントデータが残っていないか確認してください。

○パターンは必ず分割

[ウィンドウ/ドキュメント情報] から [パターンオブジェクト] を選択し、パターンが残っていないか確認してください。

○オーバープリントはスミベタ (K100%) に限り設定可

色網オブジェクトにオーバープリントの効果を求める場合は、[透明] 機能の [乗算] 効果を使用してください。

※白色のオブジェクトにオーバープリントを設定すると、そのオブジェクトは印刷されません。

N-PDFの書き出し方法

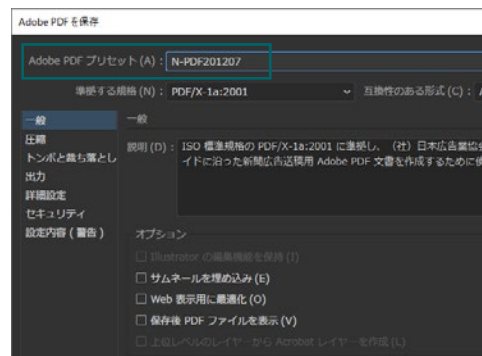
Adobe Illustrator

N-PDFの書き出しには、まず制作環境の初期設定を完了させる必要があります。

初期設定の方法は、[当マニュアル\(P.5\)](#)を参照ください。

- ① [ファイル] メニューから [複製を保存] を選択
- ② [当マニュアル\(P.1\)](#) を参考にファイル名を決定し、
[ファイルの種類 / Adobe PDF (*.PDF)] を選択して [保存]
- ③ [Adobe PDFを保存] 画面の [AdobePDFプリセット] から
[N-PDF201207] を指定し、PDFを保存

※ プリセット名の後に「(変更)」と表示されている場合、意図せず設定内容が変更されている可能性がありますので、ご注意ください。



配置画像 (写真) データの作成

Adobe Photoshop

■画像データの仕様

○CMYKおよびグレースケール：実質解像度250～350ppi程度のPSD形式ファイル推奨

○モノクロ2値 (モノクロ2階調)：1200ppi程度のTIFF形式ファイル

× GIF・PNG・BMP・PICTなどCMYKをサポートしていないフォーマットは使用できません。

※ 二次元コードはIllustratorのベクターデータ、もしくはモノクロ2値のTIFF (無圧縮) データを推奨。

■インキ総量と色調補正

○インキ総量 (CMYK使用率の合計値)：240%以下

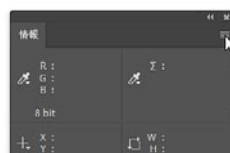
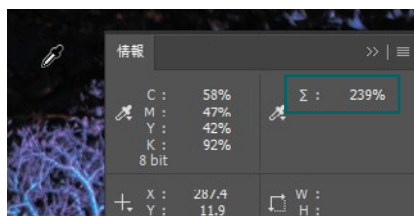
※ 高速新聞輪転印刷においてインキの総使用量が一定以上増えた場合に、モニター上ではきれいに見えていても印刷において再現できないことや、色の濁りやにじみなど刷り上がり不良の原因となることがあります。そのため弊紙ではインキ総量の制限を設けています。

※ 一般商業印刷に比べ、特に中間色においてドットゲイン量が多いことから、やや彩度を高く、トーンカーブを明るめに色調補正することをお勧めします。

○インキ総使用量の確認方法

Photoshopの [情報] ウィンドウから確認することができます。インキ濃度の高いシャドー部に240%を超えた部分がないか確認してください。

[情報] ウィンドウにインキの総使用量 (Σ) の項目が表示されない場合は、パネルオプションから、[第1色情報 / モード] を [画像に合わせる]、[第2色情報 / モード] を [インキの総使用量] と設定してください。

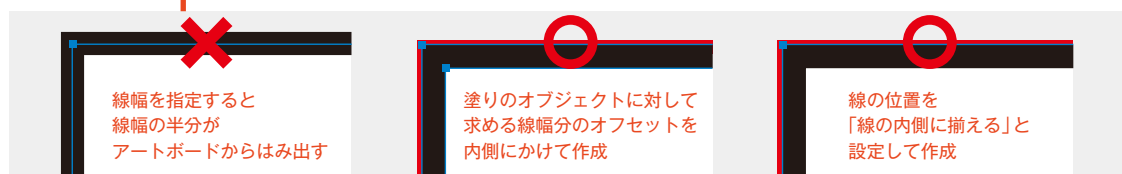
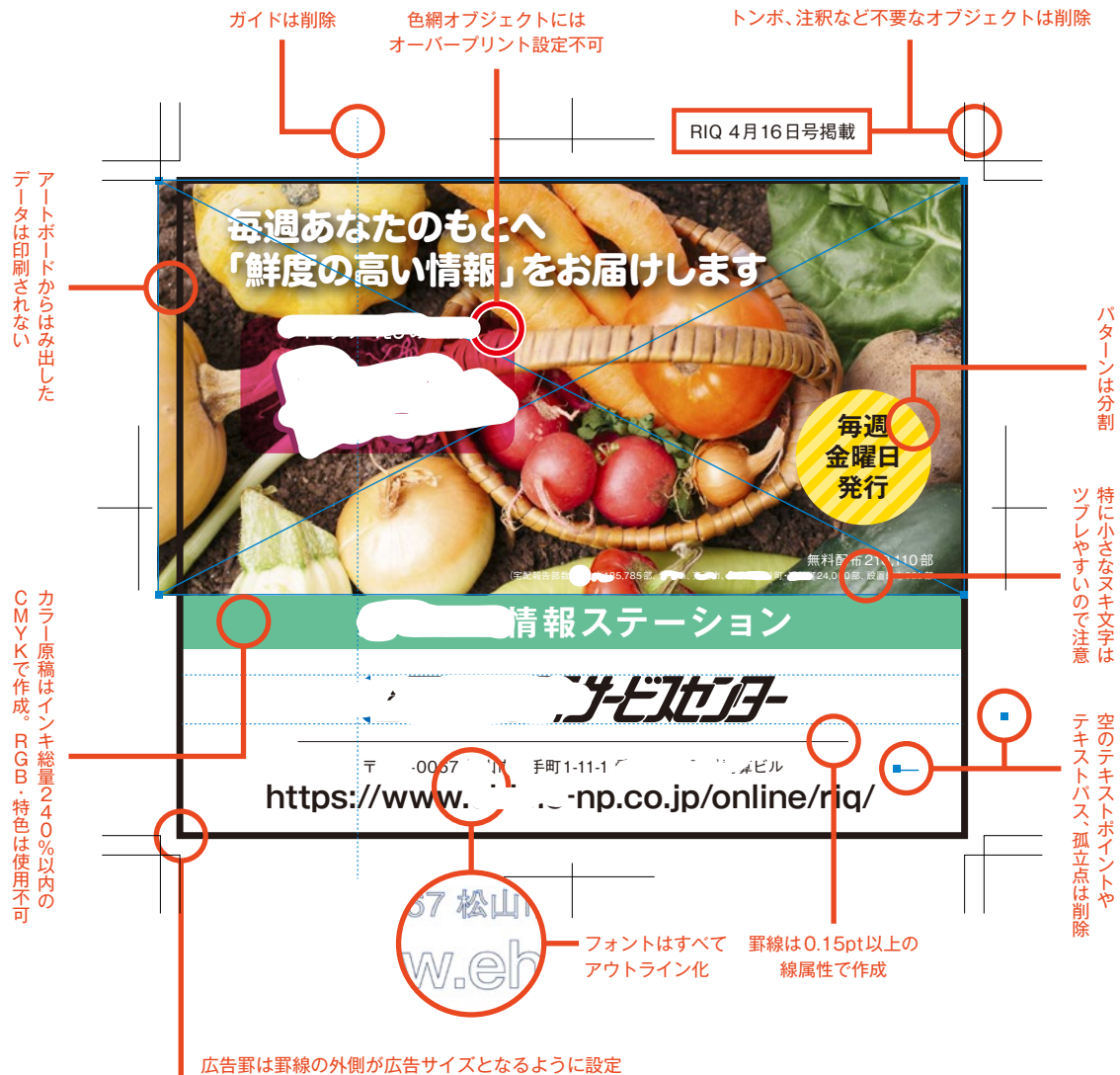


○インキ総量の調整

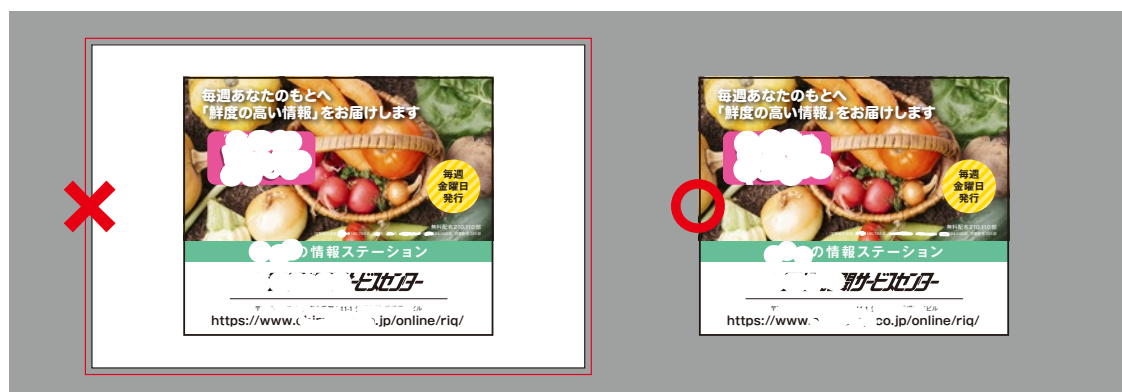
Photoshopでは、RGBモードで画像の補正・調整を終えた後、[カラー設定] を [日本 - 新聞用] と設定してCMYKに変換するか、プロファイル [Japan Color 2002 Newspaper] を選択してCMYKに変換することでも、インキ総量240%に合わせた調整をすることができます。

※ プロファイルによる色空間の変換は、必ずRGBデータに対して行ってください。CMYKからの変換は適切な結果を得られません。

※ カラープロファイルを用いてインキ総量を調整する場合、より新聞印刷に適したCMYKデータへと変換されるため、モニター上では薄く表示されるなどプレビュー結果が大きく変化することがあります。



アートボード = 広告のサイズ となるように設定。裁ち落とし天地左右0mm



N-PDF 制作環境の初期設定

Adobe Illustrator・Acrobat Pro

■必要なファイルを揃える

○新聞広告デジタル制作ガイド

- ①新聞広告デジタル制作ガイドN-PDFver.1.2 (2019).pdf

○N-PDF 設定ファイル

PDF プリセット : ②「N-PDF201707.joboptions」

プリフライトファイル: ③「N-PDF2012カラー単色.kfp」

「N-PDF2012モノクロ.kfp」(※リックでは使用しません)

日本広告業協会ウェブサイト「[新聞広告デジタル制作・送稿ガイド](https://www.jaaa.ne.jp/?p=6650)」(<https://www.jaaa.ne.jp/?p=6650>)より、

①～③をダウンロードしてください。

○新聞社用プリフライトファイル

プリフライトファイル: ④「N-PDF 愛媛新聞社カラー広告用 2019.kfp」

④は弊紙よりお渡します。

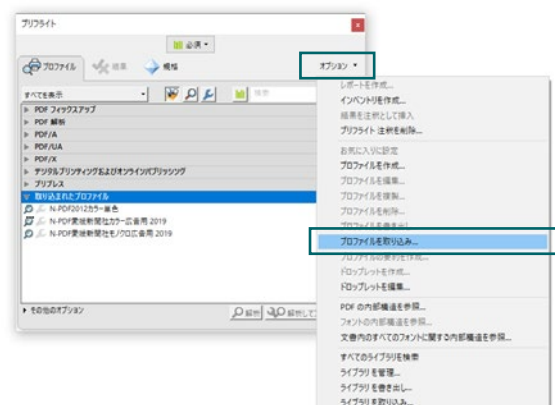
また、②～④の必要ファイル一式をまとめてご用意しております。詳しくは、営業担当者までお問い合わせください。

■N-PDF 書き出し用設定

制作アプリケーション(Illustrator・InDesign)の[編集/Adobe PDF プリセット]で「N-PDF201707.joboptions」を読み込んでください。正しく読み込まれるとプリセッット一覧内に「N-PDF201707」と表示されます。

■プリフライト(入稿前セルフチェック)用設定

Adobe Acrobat Proで[ツール/保護と標準化/印刷工程/プリフライト]と進み、ダイアログボックスの[オプション/プロファイルを取り込み]を選択、使用Acrobatのバージョンに準じて③「N-PDF2012カラー単色.kfp」もしくは、④「N-PDF 愛媛新聞社カラー広告用 2019.kfp」を取り込んでください。正しく取り込まれると[取り込まれたプロファイル]欄に目的のプロファイルがリストアップされます。



○各プリフライトファイルの対応状況

- ③N-PDF2012カラー単色:

Acrobat Pro ver.9 以降対応

- ④N-PDF新聞社カラー広告用 2019:

Acrobat Pro ver.DC 以降対応

※プリフライトの詳細・手順につきましては、[当マニュアル\(P.6\)](#)を参照ください。

■制作環境の確認

○黒の表現方法

制作アプリケーション(Illustrator・InDesign)の[編集/環境設定/ブラックのエイピアランス(黒の表示方法)]から、[すべての黒(ブラック)]を正確に表示・出力するように設定してください。

○カラー設定

カラープロファイルによって色空間を変換した画像ファイルを、制作アプリケーション上で適切に表示・印刷するためには、各アプリケーション間のカラー設定を同一とする必要があります。同期の際は、[編集/カラー設定]から[日本 - 新聞用]を選択してください。

※[カラー設定]を変更する場合は、必ず変更前に現環境の確認・保存を行ってください。印刷掲載用データ以外の制作を行う際は、環境を適切な設定に戻してから作業してください。

プリフライト (事前データチェック) について

Adobe Acrobat Pro

■入稿データチェック

入稿いただいたN-PDFは、「[N-PDF愛媛新聞社プリフライトプロファイル](#)」で解析し、エラーが認められた場合には、データの修正を求めています。

当マニュアルに沿って作成いただいたデータは、入稿前にプリセット [N-PDF愛媛新聞社カラー広告用 2019] もしくは、[N-PDF2012カラー単色] を用いてプリフライト (事前チェック) し、エラーの無いことを確認してご入稿ください。

■プリフライトプロファイル

○N-PDF愛媛新聞社カラー広告用 2019 (Acrobat Pro ver.DC 以降必要)

社用プロファイルです。

に入稿いただいたデータは、このプロファイルを用いて解析します。

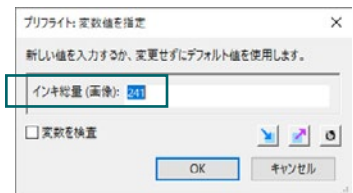
○N-PDF2012カラー単色 (Acrobat Pro ver.9 以降必要)

日本広告業協会作成のプロファイルです。このプロファイルでは、解像度・インキ総量・オーバープリント設定のチェックは行いません。入稿後、改めて [N-PDF愛媛新聞社カラー広告用 2019] で解析を行います。

※使用する Adobe Acrobat のバージョン等によりプリフライトが行えない場合は、[当マニュアル \(P.7\)](#) を参照の上、予めPDFの簡易チェックを行ってください。入稿後、[N-PDF愛媛新聞社カラー広告用 2019] で解析します。

■プリフライトの手順

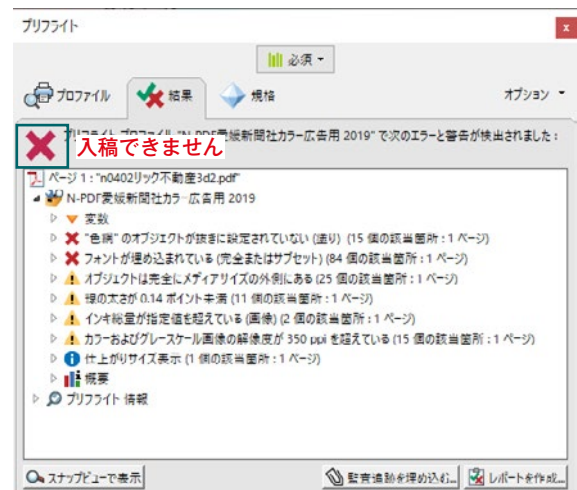
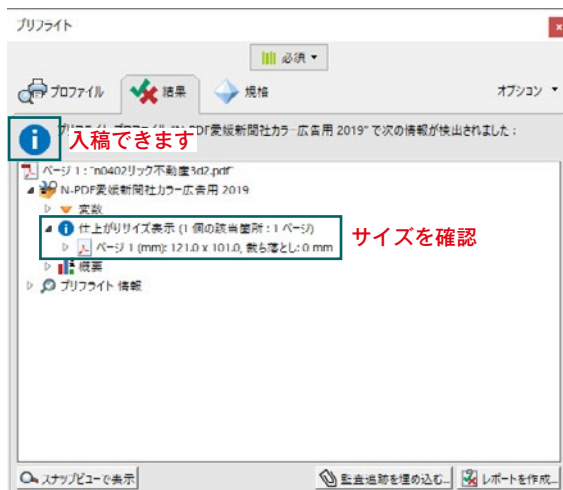
- ①対象のN-PDFデータをAcrobat Proで開く
- ②ver.9の場合は[アドバンスド/印刷工程/プリフライト]、
DCの場合は[ツール/保護と標準化/印刷工程/プリフライト]と進む
- ③[取り込まれたプロファイル] から目的のプリセットを選択し[解析]
- ④プロファイル [N-PDF愛媛新聞社カラー広告用 2019] で実行する場合は、
[変数値を指定] ダイアログボックスでインキ総量を「241」と指定
- ⑤診断レポートを確認し、エラーが検出された場合は、制作データに戻り修正してください



■診断レポートの見かた

- [仕上がりサイズ表示] に表示されるサイズが、原稿サイズと符合するか確認してください
- : このままでは入稿できません。制作データに戻りエラーの原因を修正してください
- : データの状態により、修正をお願いする場合があります

※パターンオブジェクトの分解を行わずN-PDFを作成した場合、プリフライトにより[4Cまたは特色以外のカラーを使用]としてエラーが表示されます。パターンを分割・拡張することで、このエラーを回避できます。



プリフライト(事前データチェック)について

Adobe Acrobat Pro

■インキ総量とオーバープリントの確認方法

- ① [ツール(アドバンスト)]/印刷工程/出力プレビュー]を選択
- ② [シミュレート]欄[オーバープリントにシミュレート]をON
- ...

○インキ総量の確認

- ③ [表示]欄[領域全体をカバー]をON、「241」%と入力
インキ総量241%以上の部分がハイライト表示

○オーバープリントの確認

- ③ [プレビュー/カラー警告]を選択
- ④ [警告]欄[オーバープリントを表示]をON
オーバープリントに設定された部分がハイライト表示



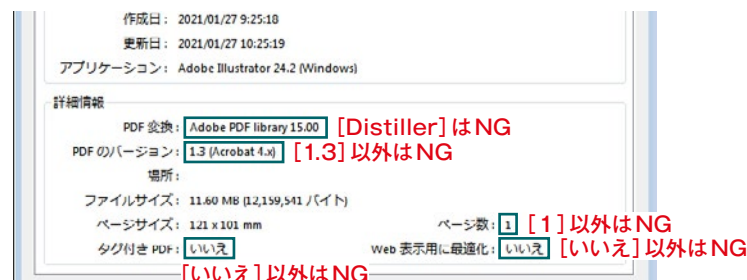
N-PDFの簡易チェック

Adobe Acrobat Reader

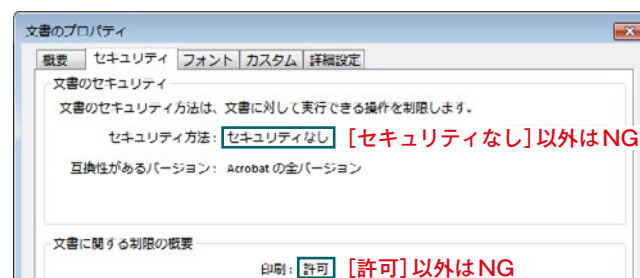
■N-PDFの簡易な確認方法

Acrobat ReaderなどでPDFファイルを開き、[ファイル/プロパティ]メニューから、下記項目を確認してください。
以下の例の表示と異なる場合には、N-PDFとして入稿できません。マニュアルに沿った制作が行われているか、再度データをご確認ください。

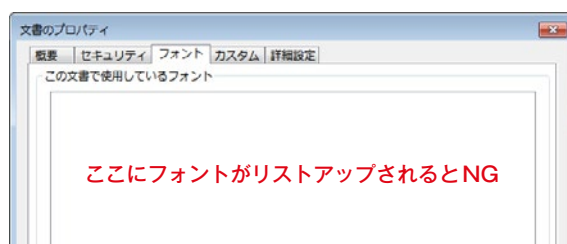
- [概要]タブ:[詳細情報]



- [セキュリティ]タブ:[文書のセキュリティ/セキュリティ方法]・[文書に関する制限の概要/印刷]



- [フォント]タブ:[この文章で使用するフォント]



- [カスタム]タブ:[カスタムのプロパティ]

